

2025 年度 授業コード: 21105500

授業科目	＊看護マネジメント総論					実務家教員担当科目	○
単位	1	履修	必修	開講年次	2	開講時期	後期
担当教員	幸 史子						
授業概要	看護管理とは管理者だけでなく、看護実践者にも必要な知識と技術になっている。看護実践者としてのマネジメントの知識と応用を学び、ケアの受けてと提供者の双方が満足できる環境について考察できる力を養う。また、質の高い看護を全ての患者に継続的に提供するためには組織で取り組む必要がある。そのためには全看護師が、組織の責務や目標を把握し協働的に活動しなくてはならない。その基盤を構築するために必要となるのが看護サービスのマネジメントである。本授業では、看護ケアのマネジメント及び看護サービスのマネジメントについて講義する。更に、看護専門職としてのキャリア開発、医療安全管理等の観点から看護マネジメントを学び、「看護専門職」としての理解を深めることを目的とする。 担当者は、看護の実務経験を持ち看護管理者として長きにわたってマネジメントを実践してきた経験を持つ。						
授業形態				授業方法	アクティブラーニング（グループワーク）と ICT（動画）を活用し授業を展開する。		
学生が達成すべき行動目標							
標準的レベル	質の高い医療・看護を実践するためのマネジメントの基本を修得し、看護専門職としての理解を深めることができる。 1. 看護ケアのマネジメントの特徴について説明できる。（DP1-2） 2. チーム医療や多職種連携における看護師の役割と必要とされるマネジメントについて説明できる。（DP3-1） 3. 看護サービスマネジメントの特徴について説明できる。（DP1-2） 4. 看護組織における人材育成の必要性についてまとめることができる。（DP4-1） 5. 看護専門職としてのキャリア開発の概要が説明できる。（DP1-2） 6. 医療安全管理の概要（医療安全管理体制、事故発生のメカニズム、医療安全対策、医療安全文化の醸成）が説明できる。（DP1-2） 7. あらゆる場における看護組織や人的資源管理について説明できる。（DP1-2）						
理想的レベル	標準レベルに加え、自身の学びと考えを論理的に根拠を踏まえ記述できるとともに、「看護専門職」として必要な技能を模索し自己形成を深めることができる。						
評価方法・評価割合							
評価方法		評価割合（数値）			備考		
試験		80					
小テスト		0					
レポート		20					
発表（口頭、プレゼンテーション）		0					
レポート外の提出物		0					
その他		0					

参考図 書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	・系統看護学講座 統合分野 看護管理 看護の統合と実践①（医学書院） ・系統看護学講座 統合分野 医療安全 看護の統合と実践②（医学書院） ・井部俊子 中西睦子著：看護管理学習テキスト 第1巻～第8巻、別巻（日本看護協会出版会） ・P.F. ドラッカー著 上田惇生編訳：[エッセンシャル版] マネジメント 基本と原則（ダイヤモンド社） ・岩崎夏海著：もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら（ダイヤモンド社） ・河野龍太郎：医療におけるヒューマンエラー「なぜ間違えるどう防ぐ」（医学書院） ・東京慈恵会医科大学附属病院 看護部・医療安全管理部編著：Team STEPPS を活用したヒューマンエラー防止策 SBAR を中心とした医療安全のコミュニケーションツール（日本看護協会出版会） ・芳賀茂：失敗のメカニズム 忘れ物から巨大事故まで（角川ソフィア文庫） ・石井遼介：心理的安全性のつくりかた（日本能率協会マネジメントセンター）
課題に対 するフィ ードバッ クの方法	・レポートのフィードバックは、授業内もしくは Google クラスルームを活用して、その概要や記載例を説明する。 ・試験のフィードバックは成績発表後に Google クラスルームを活用して説明する
学生への メッセー ジ・コメ ント	まずは基礎看護学実習Ⅱでの看護の光景を想起してみましょう。例えば日々医療現場で行われている手指消毒方法の徹底統一はだれがいつどのように行っていましたか。手指消毒剤やサージカルマスクをはじめとする個人防護具が常に不足しないようにするためには、どのようなしくみが存在しているのでしょうか。また、専門的器材をどの看護師でも安全に使用し管理できるようにするためには、どのような教育を誰が企画し実践しているのでしょうか。このような事案のルールやシステムの構築（枠組み）が行われて、はじめて円滑に迅速に必要な看護が必要な患者に提供できます。この枠組みを構築するのがマネジメントであり、マネジメントなくして質の高い医療・看護の効果的・効率的・継続的な提供はありません。 また、組織においては、よりよい人間関係を構築するために、様々な工夫や配慮が必要です。看護において、質の高いマネジメントが実践できるようになるために、様々なマネジメントの技法やスキルをこの授業で学んでいきましょう。